

六甲山系における土砂災害の歴史とそのハード整備事業

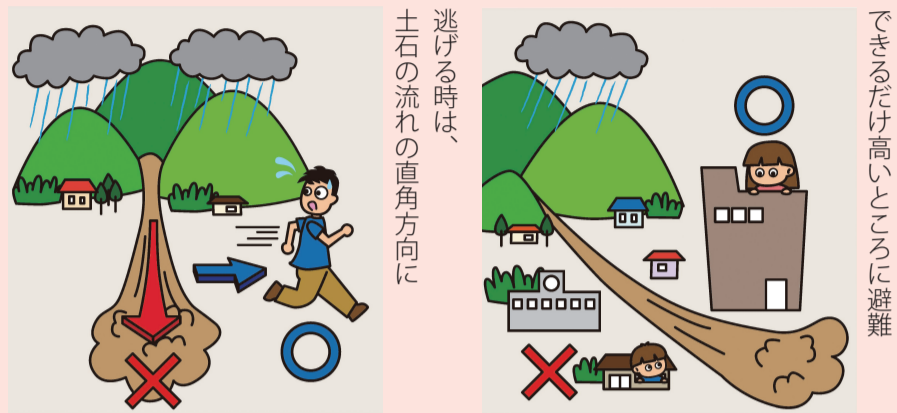
近畿地方整備局
六甲砂防事務所
建設監督官 明見章史氏



六甲山の南斜面は海岸線からわずか 7 km 程度で標高 931m の六甲山頂に至る急峻な地形で、河川も急勾配になっています。また、六甲山の大部分は花こう岩でできています。花こう岩は非常に硬い岩石として知られていますが、風雨によって風化すると崩れやすく砂のようになってしまいます。このような地形や地質の特徴から集中豪雨が降ると土石流や斜面崩壊しやすい山地であると言えます。

六甲砂防事務所としてもハード的な整備として新設堰堤(えんてい)や既設堰堤補強、のり面対策工事を進めております。芦屋市域では芦屋川にある滝ヶ谷第二堰堤補強工事を昨年度から行っています。そのほか、良好な樹林整備の一環として市民団体、企業、小学校による森づくり活動の支援も行っています。

6 月は土砂災害防止月間です。土砂災害について日頃からの注意を心がけてください。土石流の前兆現象は、雨が降っているのに川の水が急に少なくなる、川の水が濁り流木が混じる、山鳴りがする等があります。がけ崩れの前兆現象は、小石がパラパラ落ちてくる、今まで見たことのないひび割れや亀裂が入る、崖からのわき水が濁ってくる等です。前兆現象を見かけたら、特に注意して、川や崖の近くに近寄らないようにして下さい。また避難する時は土石の流れに直角方向にできるだけ高いところに逃げるようにして下さい。



7月2日 土砂災害に備えて、防災総合訓練を行います

近年、台風や前線に伴う豪雨、地震などにより全国各地で多発する土砂災害に備えるため、土砂災害の発生する可能性がある区域を対象に防災行政無線等で呼びかけ、土砂災害警戒区域の啓発、避難訓練および避難所開設訓練を実施します。

■日時 7月2日(日)午前9時～正午(雨天決行)
※各種気象警報の発令時は中止します。

■会場 【メイン会場】 朝日ヶ丘小学校
【サブ会場】 シスメックス(株) グローバルコミュニケーションセンター(奥池地区避難所)
※各会場に駐車場はありません。



■内容 防災行政無線等からの避難発令による避難訓練
避難所開設訓練
防災関係機関の展示コーナーを設置(メイン会場のみ)



防災安全課 島村洋平

災害時に備え、ぜひ訓練に参加し、地域のかたがたと関わり合ってください!

避難情報の名称を確認しましょう

土砂災害発生の危険性が高まると、危険な区域に対し、避難情報を発令します。発令される避難情報の名称は3つあります。意味を事前に正しく理解し、ハザードマップ等で避難所の場所も確認しておきましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される時

- 避難に時間を要する人(高齢のかた、障害のあるかた、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった時

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難指示(緊急)

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった時

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

※この順番で発令されるとは限りません。

※身の危険を感じる時は、避難情報に関係なく、すぐに避難しましょう。

平成29年度 防災記念講演

問い合わせ

芦屋防火安全協会事務局(消防本部予防課内) ☎38-2098/FAX32-0119

- 日時 6月9日(金)午後3時40分～5時
- 会場 消防庁舎3階多目的ホール
- 演題 老若男女で考える 地域の防災・減災
- 定員 50人
- 講師 NPO政策研究所 専務理事・相川康子氏



※駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

CATV
芦屋市広報番組

あしやトライあんどぐる

6月
〈前半〉

オープニング 谷崎潤一郎記念館 庭園

トピックス 第54回 あしや山まつり

特集 市立芦屋病院で快適な産後を
～周産期ネットワークをご存知ですか～

お知らせ 第31回「残月祭」羽田圭介講演会
土砂災害に備えて、防災総合訓練を実施します

エンディング 芦屋市立美術博物館コレクション

《放送時間 15分》

- ①午前9時
- ②正午
- ③午後3時
- ④午後6時
- ⑤午後10時

※DVDの貸出可

■広報番組「あしやトライあんどぐる」は、11ch(一部地域除く)でご覧ください。

■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ J:COMカスタマーセンター ☎0120-999-000(午前9時～午後6時)